

令和4年度第2回公立大学法人福知山公立大学教育研究審議会 議事録

日 時：令和4年11月22日（火）13時00分から15時00分まで

場 所：福知山公立大学4号館4階会議室

出席者：

（委員）川添信介委員、西田豊明委員、倉田良樹委員、畠中利治委員、井上直樹委員、
坂根文伸委員、中村佳正委員、三田真史委員

（事務局）岸本範義、山中貴文、荻野美代子、内田晩穂、竹元啓、大月活人

欠席者：山田篤委員、今井一之委員、岡田知弘委員、落合登志哉委員

会議概要

<定足数>

定款第21条第4項により成立した。

<議長>

定款第21条第3項により川添理事長が議長となった。

<確認事項>

前回の議事録（案）について確認を行い、原案どおり承認された。

<審議事項>

1号議案 福知山公立大学大学院地域情報学研究科地域情報学専攻の設置について

福知山公立大学大学院地域情報学研究科地域情報学専攻の設置〔審議1〕について審議を行い、原案どおり承認された。

出席委員から、本件の資料はアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの順となっているが、ディプロマポリシーをもとにカリキュラムポリシーを作成し、そのカリキュラムを受ける対象者をアドミッションポリシーで定めることが設置審で求められるため、3つのポリシーは逆順でかつつながりがわかるように示した方がよいとの意見があった。

2号議案 令和6年度及び令和7年度入学者選抜に関する変更について

令和6年度及び令和7年度入学者選抜に関する変更〔審議2-1〕・〔審議2-2〕について審議を行い、原案どおり承認された。

出席委員から、情報学部における教科「情報」の試験の配点の根拠について質問があり、入試委員長から、配点は学部ごとに検討をおこない、地域経営学部は他の科目と同じ配点としたが、情報学部では高等学校における情報科教員の配置状況のアンバランスや新規科目であることを踏まえた配点としているとの回答があった。

3号議案 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)に基づく 研究費の不正使用防止に係る体制等の見直しについて

研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)に基づく研究費の不正使用防止に係る体制等の見直し〔審議3〕について審議を行い、原案どおり承認された。

なお、研究費の不正使用防止に係る体制等について大学の現状報告と意見交換を行い、出席委員から次の意見があった。

- ・ 開学からこれまでの6年間で不正の疑いがある事案はなかった。
- ・ 大学の研究の成果に期待しているからこそ、不正があった場合にはより厳しい目で見ることになる。
- ・ 教員個人が不正防止に気を配るとともに教員同士で確認しあう仕組み、学部、大学など何重にも確認できる体制の構築が必要である。

4号議案 規程の改正

公立大学法人福知山公立大学内部統制システム基本規程〔審議4〕について審議を行い、原案どおり承認された。

<報告事項>

(1) 令和5年度予算編成方針(案)

公立大学法人福知山公立大学令和3年度決算〔報告1〕について報告があった。

(2) 令和3事業年度及び中期目標期間に係る公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果及び対応の公表について

令和3事業年度及び中期目標期間に係る公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果及び対応の公表〔報告2〕について報告があった。

(3) 近況報告

大学の近況〔報告3〕について報告があった。

(4) 規程の改正

規程の改正〔報告4-1〕～〔報告4-5〕について報告があった。